

静岡の風力発電機2基

関東・東海地方で7日夜から吹き荒れた風雨で、静岡県東伊豆町奈良本の「CEF伊豆熱川ウインドファーム」（鎌田宏之社長）が所有する風力発電機10基のうち2基の羽根が折れる被害が出た。写真・本社へりから丸山博撮影。

（社会面に関連記事）
8日午前9時ごろ、近くの別荘の住民から「羽根が折れている」と同時に連絡があっ

風強過ぎて？ 羽根がポキッ

た。発電機は高さ約100メートル。発電機には羽根（長さ約37メートル）が3本あり、10基で1時間当たり最大1万5000キロワットを発電する。昨年、同町の日目山の尾根に設置され、12月から試験運転中だった。風速60メートルまで耐えられる設計で、同町は瞬間的な強風が落雷で羽根が折れた可能性がある。とみて、CEF社に原因を調査するよう指示した。【浜中慎哉】

